総合特別区域評価・調査検討会における評価結果（平成24年度）の概要

2. 分野等別状況　（2）地域活性化総合特区　②ライフ・イノベーション分野（7／8）

	評価区分（*1）	総合評価（IとIIの平均値にIIIを加味）	Ⅰ目標に向けた取組の進捗に関する評価	Ⅱ支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ現地調査時の指摘事項及び対応状況等（*2）	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区（柏市）	正	B 4.4	B 4.0 進捗度 ・柏市における要支援・要介護者へのサービス実施件数 通所リハビリ事業所 89% 訪問リハビリ事業所 120% ・TEPによる柏市内ベンチャー企業の支援数 100% 等	B 4.0 規制の特例等 ・訪問リハビリテーション事業所整備推進事業　等 財政支援等 ・災害時スマートエネルギーシステムの構築（利子補給）　1件 地域独自の取組 ・柏市指定居宅サービス等事業人員設備運営基準等条例改正	＋0.4	・問題設定が適切で、対策も堅実（※1）である。大いに期待できる。 ・包括的な事業提案であるが、一企業が建設中の住宅・商業街区内に限定（※2）されており、自治体、その他の関与は付随的。産官学民の協働体制の強化が望ましい。 ※1：（例）地域の健康・介護について。通所リハビリ事業所と訪問リハビリ事業所のサービス実施件数を、介護・医療サービス向上につながる指標として設定。トータルヘルスケアステーションの場所の決定、リハビリ実施者の確保、医師との連携の構築、厚生労働省との協議等の取組を進めている。 ※2：駅前148街区複合開発や駅周辺5街区におけるCO_2排出量の削減等を数値目標として設置する等。

◆評価書はこちら　　◆評価結果はこちら

*1）「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。　*2）「Ⅲについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。